

問合せ先

船舶技術部管理課長 井坂

Tel.022-363-0111(内線 2310)

平成23年9月22日

第二管区海上保安本部

海上保安庁航空機の愛称は「うみすずめ」に決定！

本年度中に当管区仙台航空基地に配属されるアグスタ式AW139型中型回転翼航空機の愛称は「うみすずめ」に決定しました。

本年度中、当管区仙台航空基地に配属されるアグスタ式AW139型中型回転翼航空機について、平成23年7月11日から8月5日までの間、同機の愛称を募集したところ、全国から194件（116作品）もの応募をいただき、厳正なる審査の結果、「うみすずめ」に決定しました。

「うみすずめ」にご応募いただいた方は3名で、後日、賞状及び記念品を贈呈することとしております。

「うみすずめ」へご応募いただいた方のコメントを一部紹介します。

- ・北原白秋の詩集より
- ・うみすずめは潜水をして水中飛翔し、補餌する鳥で、その姿が空を斬り、迅速に現場に駆けつけるヘリ、潜水して人命を助けるという所とリンクし海上保安庁が保有する航空機にはぴったりだと思った
- ・東北地方にも生息している海鳥であり、容易に海を連想することができるため



〈うみすずめについて〉

・チドリ目ウミスズメ科の海鳥、日本沿岸に7種が生息しており体長は15cmほどのものから、45cmのものまでいる。

翼を使って潜水を行い小魚や貝類を捕食し、数十メートルは潜る。

海面すれすれを飛行し、群で生活する。

また、北原白秋の詩「海雀」にも登場する。